

ふるさと「阿南市」のすばらしい魅力を再発見!

子育てふれあい広場開講式

子育てふれあい広場



発行/平成29年(2017年)9月1日 [710号]
 編集/阿南市企画部秘書広報課 〒774-8501 阿南市富岡町ノ町12番地3 ☎0884-22-1110
 印刷/米崎印刷株式会社 e-mail: hisho@anan-tokushima.jp



開講式・七夕会



お楽しみ会

少子化や核家族化が進行し、家庭での子育ての負担や悩みが大きくなっていく中で、親子間だけでなく子ども同士、保護者同士も交流できる場を設けたい。そんな思いから16年前に「子育てふれあい広場」が発足し、子育て支援活動に取り組んでいる。対象は保育所や幼稚園へ入るまでの見能林地区の子どもとその保護者で、毎年20組余りが水曜日の午前に見能林公民館の体育室で遊びを楽しんでいる。

学校の体育館のような広さと開放感を備える体育室には、ボールプールやすべり台、ままごとセットなどの遊具がずらりとそろえられていて、当日の参加状況を見て、乳児を寝かせられるスペースを設置することもある。遊具などの配置や使用は安全第一を意識し、参加者がすぐに溶け込みやすい環境づくりに努めている。そのため、子どもたちは会場に着くなり駆け出し、思い思いに遊びに夢中になっている姿が印象的だ。

普段は、サポーターの皆さんが遊具を使って親子の遊びや交流を支援し、育児上の相談を自然な会話の中で受けることで保護者が一息つける空間となっているのが魅力のひとつ。そのほか、親子遠足、親子でできる体操、保健師による身体計測、七夕会、お楽しみ会、節分など季節ごとの充実したイベントが企画されている。

「代表になってまだ2年目で日が浅いですが、立ち上げた方々の思いや伝統を引き継ぎながら、参加者に『来年も来たい』と思ってもらえるような地域のふれあいの場にしたいです」と代表の長尾成子さん(63歳・中林町)は話す。

細やかなサポートや多彩なイベントなどが人気を博し、リピーターも多い「子育てふれあい広場」。サポーターの皆さんは、地域の子どもの健やかな成長を願い、今日もたくさんのお親子を温かい笑顔で迎えている。



親子遠足でお菓子ゲット



大きなボールプールで遊ぶ